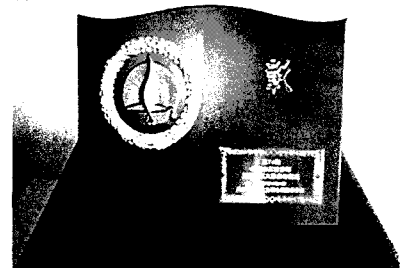
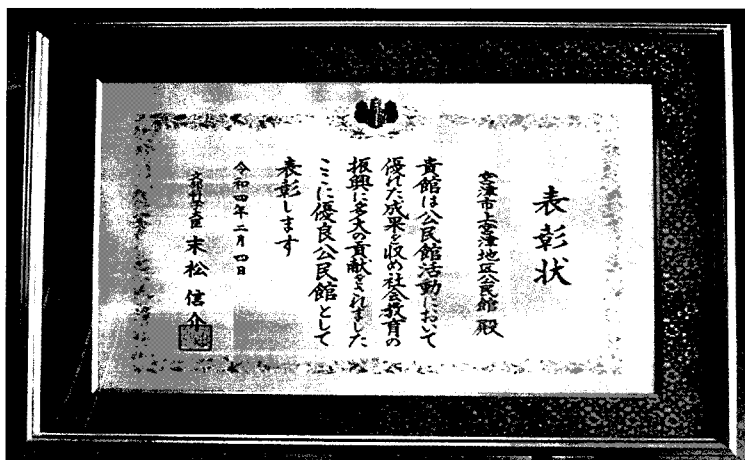


令和3年度 第74回優良公民館表彰

おめでとうございます

文部科学大臣賞



マイ防災マップ作りとコミュニティ強化の村づくり

文部科学省「公民館を中心とした社会教育活性化支援プログラム事業」を活用し、上宮津地区公民館が自治連合会、地域会議と連携してプロジェクトチームで取り組みました。

平成16年の台風23号の被害の経験を活かした減災、防災に役立つ地元住民による手作りマップが完成しました。

皆様の安全に対する取り組みへの熱意が地域コミュニティの強化に繋がったことに対する評価です。

マイ防災マップ作りと

これからの地域コミュニティ

2月4日に令和3年度全国優良公民館表彰を上宮津地区公民館が受賞しました。

文部科学省の「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム事業」を受けて上宮津地区全体で『マイ防災マップづくり』の取り組みが主に評価されたものです。

取り組みをしたのが平成25、26年度でしたから今から8年前になります。

この取り組みを始めることになった理由はいくつかあります。一つには平成16年に体験した台風23号の体験を自分たちが将来安心して過ごすための記憶として残しておく必要があるという強い思いがありました。

台風は今から17年前の平成

16年10月に襲来し、京都府北部の広い範囲が激甚災害に指定されるまでの大きな被害がでました。

その後、河川や田畑の生活基盤の災害復旧作業が進む中、市政においては平成18年以降から各地で地域会議が設立されました。それぞれが地域で振興計画に基づく独自の取り組みが求められ、これにより上宮津地域振興計画に基づく活動が開始することになります。

当時、京都府、京都大学、京都府立大学などが丹後地方の調査研究や教育実習で来ていた際に、上宮津地区公民館を利用していました。その際に里山整備や防災林の保全等、防災上の山林の必要性

等の話をいただいたことがあります。

そんな縁もあり今回のマイ防災マップづくりには大学の専門的な分野の協力を得ることが出来、行政・大学・自治連・地域会議と一体となり幅広い支援を受ける中で取り組むことが出来ました。

各区公民館や集会施設等14の会場でワークショップ方式による地域住民の参加によって作り上げられたものであります。

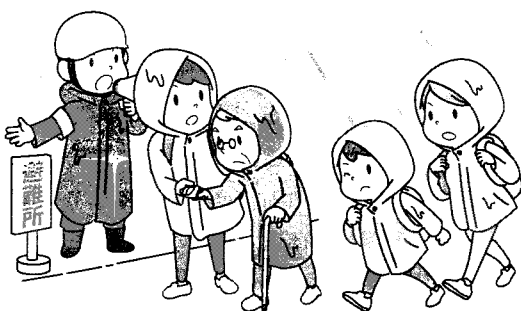
皆様のこれまでの生活を通して身近な情報がデータとして盛り込まれたマップは、安心生活をする上で大切なものになりました。

従って、今回の文部科学大臣表彰は単なる地図作りのみが評価されたのではなく、地域の皆様とともに行政・大学・自治連・地域会議など他の分野と幅広く連携した地域コミュニ

ニティに対するものがあると受け止めています。『マイ防災マップ』の取り組みは社会教育が求められるところであり、

時代の流れは社会生活の多様化となって現れ、自治会組織や公民館活動を始め、地域の行事等人々が一堂に会して物事を進めることが困難になりつつあります。

表彰を受けたこの時期に、あらためて地域防災に関心を寄せるとともに地域の結束を心から願うところです。



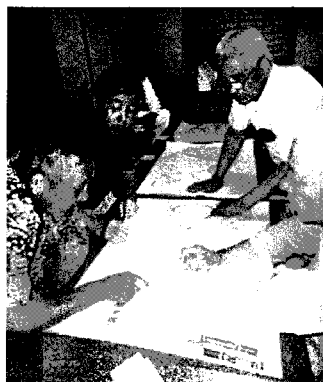
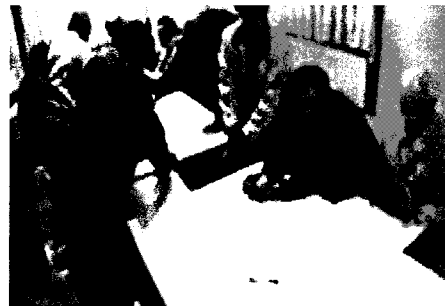
各地区の公民館や集会所など14会場でワークショップを行いました。

台風23号を中心にこれまでの浸水被害や土砂災害の実態報告、危険箇所や避難先などの情報を出し合いました。

消火栓や安全な避難経路など地域の実情にあったきめ細かい内容が出されました。



各ワーク ショップ会場 の様子



2030年を目標に持続可能な社会の実現に向けた、
SDGsの取り組みが国際的に始まっています。

公民館は『子どもから高齢者まで、自らが人生の主役として、他の人たちと一緒に新たな地域を創る』ことを目標に一人一人の人権を基本とした活動を取り組んでまいります。

これからも多世代交流型コミュニティの場としてご利用ください。

各地区のワークショップで出された情報を基にして京都府立大学で地図にしました。

- ◎近くの山や川の変化を見つけ、災害の発生を未然に予防しましょう。
- ◎近所や知人に安否の連絡が取れるよう普段から準備をしておきましょう。
- ◎早めの避難を心がけましょう。

